

平成28年度 12月補正予算(案)の概要

国の経済対策の活用により
県の基盤整備を加速



牧野植物園の魅力を生かした施設の
磨き上げ



1. 5つの基本政策の加速

9億5百万円
(債務負担行為額15億87百万円)

(1) 経済の活性化

- ① 牧野植物園が持つ資源や立地環境を生かした施設の磨き上げを行うため、施設整備に係る測量等を実施
- ② 野菜の選果ラインの処理能力向上や高性能林業機械の導入などにより第一次産業の生産性を向上
- ③ 中山間地域の所得向上に向け生産・販売施設の整備等を総合的に実施
- ④ さらなる寄港拡大に向け外国客船の受入態勢を充実するほか、スポーツツーリズムの推進に向け県管理海岸の改修を実施

(2) 日本一の健康長寿県づくり

- ① 高知家健康パスポートの取組を来年4月よりさらに充実するため、啓発資材の制作やキャンペーンを強化

2. 国の経済対策に応じた公共事業の追加（南海トラフ地震対策などを中心に事業の進捗を促進）など

105億15百万円

- ① 緊急輸送や道路啓開に資する道路の落石対策、橋梁耐震対策の実施や国直轄道路事業の促進
- ② 地震津波や高潮対策のため、堤防耐震の補強や離岸堤の整備、堤体の補強を実施
- ③ ため池の耐震化等の補強工事や津波避難タワーの整備を実施

等

3. その他

△5億14百万円
(債務負担行為額21億60百万円)

- ① 公共工事の端境期対策として、次年度の県単独道路事業の一部に債務負担行為を設定して前倒し発注
- ② 和食ダム建設工事の変更に伴う債務負担行為の追加
- ③ 県立学校におけるネットワークセキュリティ強化のための環境整備
- ④ 県有施設の指定管理に要する管理運営委託料に係る債務負担行為（こうち男女共同参画センターなど3施設）を設定
- ⑤ 人件費の補正（勤勉手当の引上げ、時間外勤務手当の増、新陳代謝等による減）

12月補正予算（案）の全体像

歳入

(1) 歳入 (単位 千円、%)

区分	平成28年度				計(A+B+C)	前年度12月補正後 (D)	前年度12月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	12月補正額					
		通常分	経済対策分	小計(B)			
(1) 一般財源	313,853,778	△ 746,422	420,565	△ 325,857	313,527,921	316,270,714	△ 0.9
県税	65,424,531				65,424,531	60,735,424	7.7
地方消費税清算金	27,511,818				27,511,818	30,541,079	△ 9.9
地方譲与税	12,553,000				12,553,000	14,025,000	△ 10.5
地方交付税等 <small>(のうち地方交付税)ア</small>	194,352,000				194,352,000	197,668,000	△ 1.7
<small>(のうち臨時財政対策債)イ</small>	(173,041,000)				(173,041,000)	(172,179,000)	(0.5)
財調基金取崩	2,417,486	△ 746,422	420,565	△ 325,857	2,091,629	2,923,982	△ 28.5
その他	11,594,943				11,594,943	10,377,229	11.7
(2) 特定財源	156,451,529	△ 2,978,908	14,210,693	11,231,785	167,683,314	154,474,431	8.6
国庫支出金	69,270,415	△ 2,322,604	8,944,801	6,622,197	75,892,612	69,055,946	9.9
県債 <small>エ</small>	49,447,000	△ 710,000	4,685,000	3,975,000	53,422,000	49,174,000	8.6
<small>(のうち退職手当債)オ</small>	(3,000,000)				3,000,000	(3,000,000)	
減債基金 <small>(ルール外分)カ</small>	8,833,031				8,833,031	7,714,609	14.5
その他	28,901,083	53,696	580,892	634,588	29,535,671	28,529,876	3.5
総計 (1)+(2)	470,305,307	△ 3,725,330	14,631,258	10,905,928	481,211,235	470,745,145	2.2

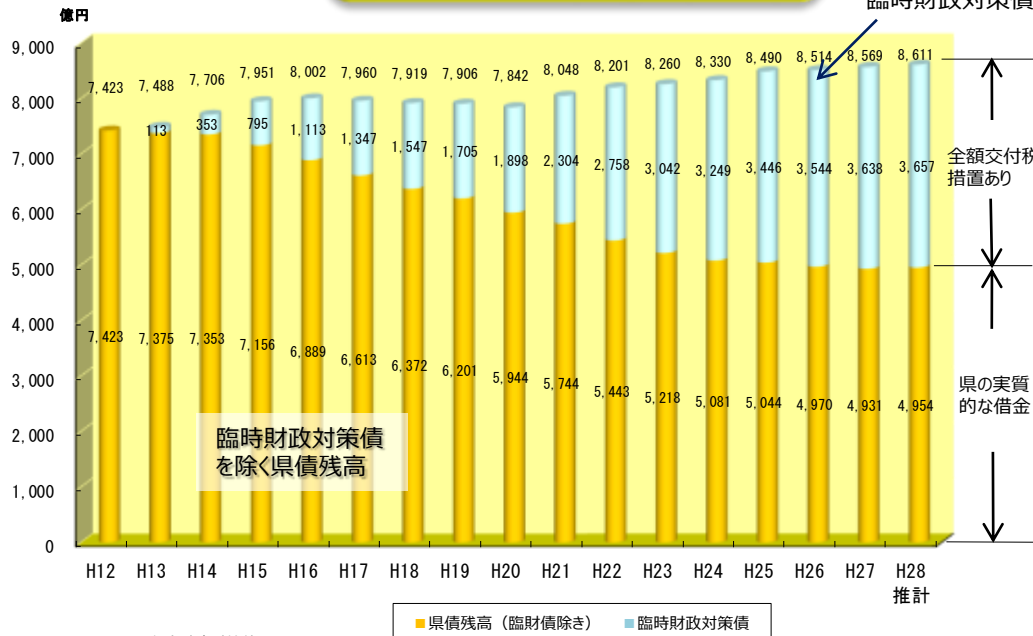
県債計 <small>(オ+エ;再掲)</small>	70,758,000	△ 710,000	4,685,000	3,975,000	74,733,000	74,663,000	0.1
財源不足額 <small>(オ+オ+カ;再掲)</small>	14,250,517	△ 746,422	420,565	△ 325,857	13,924,660	13,638,591	2.1

歳出

(2) 歳出

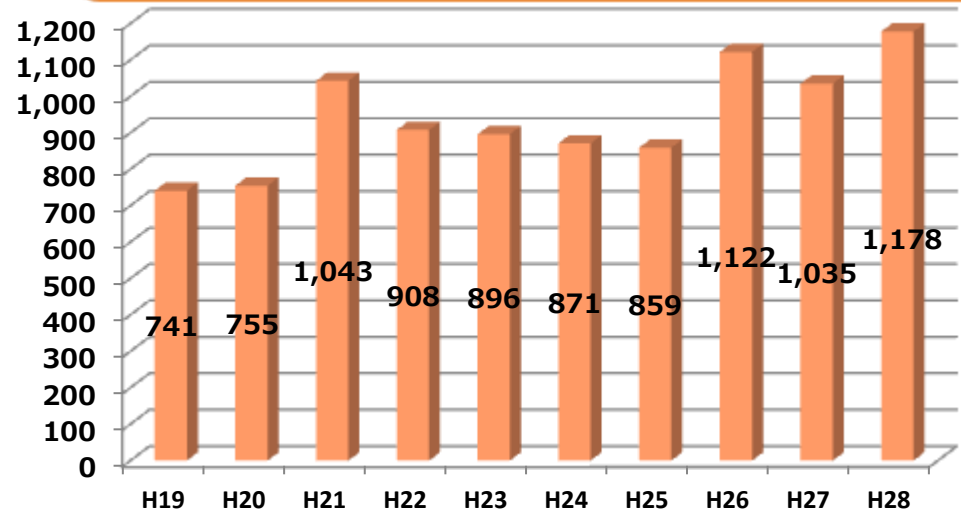
区分	平成28年度				計(A+B+C)	前年度12月補正後 (D)	前年度12月比増減 (C-D)/(D)
	現計予算(A)	12月補正額					
		通常分	経済対策分	小計(B)			
(1) 経常的経費	360,055,877	△ 537,648	104,227	△ 433,421	359,622,456	359,864,970	△ 0.1
人件費	118,882,381	△ 676,749		△ 676,749	118,205,632	120,050,145	△ 1.5
<small>(うち退職手当を除く)</small>	(105,133,383)				(105,133,383)	(106,301,147)	(△ 1.1)
扶助費	12,489,579	108,722		108,722	12,598,301	12,212,908	3.2
公債費	70,068,584				70,068,584	69,497,560	0.8
その他	158,615,333	30,379	104,227	134,606	158,749,939	158,104,357	0.4
(2) 投資的経費	110,249,430	△ 3,187,682	14,527,031	11,339,349	121,588,779	110,880,175	9.7
普通建設事業費	106,438,040	△ 3,187,682	14,527,031	11,339,349	117,777,389	103,465,490	13.8
補助事業費	71,904,856	△ 3,192,169	14,431,144	11,238,975	83,143,831	73,414,908	13.3
単独事業費	34,533,184	4,487	95,887	100,374	34,633,558	30,050,582	15.3
災害復旧事業費	3,811,390				3,811,390	7,414,685	△ 48.6
総計 (1)+(2)	470,305,307	△ 3,725,330	14,631,258	10,905,928	481,211,235	470,745,145	2.2

県債残高の推移 (普通会計ベース)



※ 臨時財政対策債
本来地方交付税で措置されるべき額について、国の財政事情が厳しいことから、臨時的に地方債として配分されているもの。後年度、元利償還金の全額が地方交付税措置される。

普通建設事業費 12月補正後予算の推移



－ 主要な事業の概要 －

経済の活性化

- ・県立牧野植物園の磨き上げ P 4
- ・第一次産業の生産力向上への支援 P 6
- ・中山間地域の所得向上に向けた施設整備等の支援 P 7
- ・豊かな自然を生かしたスポーツツーリズムの推進（須崎市浦ノ内湾大嶋海岸の整備） P 8

日本一の健康長寿県づくり

- ・高知家健康パスポート事業の充実 P 9

その他

- ・国の経済対策に応じた公共事業の追加 P10

取組の背景

- ・入園者数は平成20年度の年間20万人をピークに減少傾向。（H27：14.4万人）
- ・牧野植物園の持つ貴重なコレクションや立体的な地形などのポテンシャルを生かされていない。
- ・これらのポテンシャルを最大限に引き出し、「世界に誇れる総合植物園」となるよう磨き上げが必要。
- ・このため、8月に有識者や地元の代表者などで構成する検討委員会を設置。磨き上げのための整備構想の検討がスタート。

磨き上げ検討委員会

- 第1回(8月)：園のあるべき姿について意見交換
- 第2回(9月)：基本構想（たたき台）について協議
※魅力・価値を最大化するための方策
- 第3回(11月)：第一期構想（素案）について協議

磨き上げ整備の方向性

◎ 牧野植物園のポテンシャルを最大限に生かす ・オンリーワンのお宝（牧野博士の植物図、植物標本） ・立体地形 ・植物研究 ・五台山という立地や眺望

観光振興への貢献

- ・牧野植物園のお宝（植物図等）を生かす
- ・四季折々の多様な植物や立体地形を生かす
- ・研究型植物園の強みを生かす
- ・五台山の立地を生かす



研究・産業化への貢献

- ・研究活動の一般公開、研究成果の見える化
- ・オープンノベーションの推進
- ・植物の有用成分の分析を加速化



教育への貢献

- ・教育プログラムの充実
- ・第二、第三の牧野博士の育成
- ・生涯学習の場としての利用拡大
- ・体験学習の場としての園地整備



第一期構想の概要（素案）

◆ 市民の誇り(シビック・プライド)の拠点

- ・県民、国民が誇る植物園
- ・世界中の人々に愛される憩いの場

①(仮称)ファミリー園 約1.7ha

- ・子どもから大人までが植物に囲まれて自由に過ごすことができ、五台山からの美しい眺望が見渡せる芝生広場
- ・四季折々のフラワーイベントが開催できにぎわいの場

■ お宝展示スペース

- ・牧野博士が作製した植物図や植物標本などの貴重なコレクションをダイナミックに見ていただく場
- ・植物図の植物（生命）の神秘に迫る芸術的価値を世界に発信し、多くの方々に、本物に出会える喜びや感動を与えられる場
<収蔵品> 牧野博士の植物図：約1,700点
牧野博士の植物標本：約5,500点 他

◆ 知の拠点

- ・内知と外知が響き合うオープンノベーション
- ・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

③(仮称)研究棟・お宝展示館

■ オープンラボトリー

- ・国内外の研究者と共同研究や交流ができる場
- ・学会等のコンベンションが開催できる場

■ 研究成果の見える化・展示

- ・研究活動を来園者に公開する場
- ・世界的に貴重な植物、植物標本、生薬標本などが見学できる場
- ・子どもたちが研究体験や研究者と交流できる場
- ・研究成果の展示や発表をする場

◆ 宝の人材を育成する拠点

- ・子どもたちが自然に親しみ、探究心を育む教育の場
- ・第二、第三の牧野博士を育む世界唯一の植物園

②(仮称)スタディ園 約0.9ha

- ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べる広場
- ・能動的学習の場 ・修学旅行の受入の場

■ ヴァーチャルリアリティ・8Kシアター（大型スクリーン）

- ・ヴァーチャルリアリティの圧倒的な臨場感と没入感で、牧野博士が作製した標本や植物図の世界をバーチャル体験し、植物の神秘に迫ることができる場
- ・驚異的な技で描かれた牧野博士の植物図を高精細・臨場感あふれる映像でも体感できる場

ソフト事業

- ・プロモーション強化 ・四季折々のおもてなしイベントの開催
- ・お宝紹介講座の定期開催等の園内ガイドの充実
- ・世界有数の植物園との交流 ・夜の植物園の拡充
- ・外国人観光客の受け入れ態勢の充実(案内表示の多言語化等) 等

- ・海外産生薬のエキス化の加速
- ・牧野ブランドの商品化に向けた研究
(牧野博士にちなんだ有用植物を活かした商品開発)
- ・研究成果の公開・情報発信

- ・教育プログラムや体験教室の充実及び指導者の養成
- ・ガイドボランティアの養成及び活動支援
- ・各種教室の講師の養成及び確保 ・講座の定期開催、教室の充実等

第二期構想における検討課題

- ④ バックヤード(長江圃場)にある貴重な植物の津波浸水対策
- ⑤ 機能強化を支える整備（駐車場の拡張、入り口道路の狭隘解消）



県立牧野植物園の磨き上げ（測量調査等委託料）

「環境共生課」
12月補正予算額 2,160千円
【債務負担】 11,270千円

施設整備のスケジュール

		平成28年度			平成29年度												平成30年度												平成31年度												平成32年度																		
		H28 12月	H29 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月																							
全体整備費のイメージ 25億円前後		志国高知 幕末維新博 第一幕												志国高知 幕末維新博 第二幕(予定)																								東京 オリ・パラ																					
1	(仮称)スタディ園	測量・設計												工事																																													
	(仮称)ファミリー園【広場】	測量・設計												工事																																													
2	(仮称)お宝展示館・研究棟 VR・8Kシアター (H32年7月～)	用地造成測量・設計												用地造成工事												建築測量・設計												建築工事												お宝館・新研究棟 供用開始									
3	夜間開園 (H30年～)	測量・設計												工事												測量・設計												工事																					
■ 第2期構想における検討課題 ・長江圃場の津波浸水対策 ・駐車場対策 ・入口道路の狭隘解消																										検討中																																	

第1期構想イメージ図 ※第3回牧野植物園磨き上げ整備基本構想検討委員会資料より



◆ (仮称) ファミリー園

(広さ：約1.7ヘクタール)

- ・子どもから大人までが植物に囲まれて自由に過ごすことができ、五台山からの美しい眺望が見渡せる芝生広場
- ・四季折々のフラワーイベント等が開催できるにぎわいの広場

◆ (仮称) スタディ園

(広さ：約0.9ヘクタール)

- ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べる広場
- ・能動的学習の場
- ・修学旅行の受入の場

12月補正 整備候補地の測量調査等委託料

(仮称)ファミリー園・スタディ園の候補地の
測量調査等に係る委託料

13,430千円

- ・H28年度：2,160千円
- ・H29年度：11,270千円

<完成までのスケジュール>

- ・H29年2月～：用地測量、設計等
- ・H30年2月頃～：造成工事等



H30年秋頃～ オープン

○ **地域地域での「拡大再生産の好循環」をより促進するため、国の経済対策関連予算を活用し、野菜の選果ラインの処理能力の向上や高性能林業機械の導入など、第一次産業の生産力のさらなる向上を支援**

農業分野

○ **産地パワーアップ事業費補助金** 377,942（（国）377,942）

高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器のリース導入に要する経費、施設整備に必要な経費等に対して支援

補助先：市町村 事業実施主体：農業者団体等

補助率：施設整備1/2以内、農業機械リース導入1/2以内等

事業実施主体 (市町村)	品目	事業概要、効果	事業費 (千円)	補助金 (千円)
土佐あき農業 協同組合 (室戸市)	なす	なすの選果ラインの高度化 集出荷貯蔵施設（自動選果ライン等） 〈効果〉 ・処理能力の向上（日量約6トン→9トン） ・縦流れ方式選果ラインの導入による選果品質の均一化等	268,380	124,250
コスモス農業協 同組合 (いの町)	生姜	いの町と越知町の2カ所にある生姜の集出荷場をいの町に 集約し、集出荷施設の機能強化 集出荷貯蔵施設（建物、調製機、予冷库等） 〈効果〉 ・処理能力の向上（年間630トン（2カ所）→707トン） ・組み合わせ計量機の導入による歩留まりの向上等	420,444	194,650
しまんと新一次 産業株式会社 (四万十町)	栗	栗のペースト加工施設の整備 農産物処理加工施設（建物、加工設備、冷蔵庫等） 〈効果〉 ・栗ペーストの出荷による地域での栗加工品の販売額増加 ・栗ペーストの地域内企業への安定供給等	127,532	59,042



集出荷施設



なすの選果ライン



重要品目の生姜



拡大する栗の生産

林業分野

① **木材安定供給推進事業費補助金**

86,608（（国）86,608）

木材の用途別の需要に対応できる中間仕分施設等に原木の安定供給を行うため、搬出間伐及び路網整備に対して支援

・間伐+森林作業道

補助先：室戸市（他10市町村）

補助率：国基準単価による

・林業専用道（規格相当）

補助先：仁淀川町（他3市町）

補助率：国基準単価による



② **原木増産推進事業費補助金**（高性能林業機械導入）

5,165（（国）5,165）

素材生産事業者等の高性能林業機械導入に対する支援

補助先：四万十町森林組合

補助率：1/2以内

（支援内容）

高性能林業機械（ウィンチ付きグラブ）の導入



グラブ



ウィンチ付きグラブ

- 中山間地域において、収益性の高い農産物の生産・販売等に本格的に取り組むための「中山間地域所得向上計画」に基づき、水田の畑地化等の基盤整備、生産・販売等の施設整備等を総合的に支援

中山間地域所得向上計画の策定

29,000（国 29,000）《地域農業推進課》

「中山間地域所得向上計画」の策定にあたり、施設等の整備計画やマーケティング調査などに要する経費を支援する。

補助先：市町村（室戸市、安芸市、四万十市、田野町、安田町、馬路村、本山町、四万十町）

補助率：定額



農地等の基盤整備

151,125（国 127,875）《農業基盤課》

水田の畑地化や客土等の簡易整備を含む農地の整備、畑地かんがい施設等の水利施設の整備等に要する経費を、地域の实情に応じて支援する。

補助先：市町村（室戸市、安芸市、四万十市、奈半利町、田野町、安田町、馬路村、本山町、四万十町）

補助率：6.5/10以内

（支援内容）

農業用排水路施設や農作業道の基盤整備事業



加工施設等の整備

89,000（国 89,000）《地域農業推進課》

収益性の高い農作物の生産拡大を図るため、加工施設等の整備や、加工品等の商品開発・販路拡大の取組に要する経費を支援する。

補助先：市町村（馬路村、本山町）

補助率：1/2以内

（支援内容）

馬路村：馬路村農業協同組合が実施するゆず加工品の包装用機械の高度化等
本山町：（一財）本山町農業公社が実施する新たなブランド米の取組に要する色彩選別機の導入



鳥獣被害対策の実施

37,000（国 37,000）《鳥獣対策課》

中山間地域における農業者等の所得向上を図るため、鳥獣被害防止施設の整備に要する経費を支援する。

補助先：市町村（本山町）、地域協議会（四万十市有害鳥獣被害対策協議会）

補助率：定額

（支援内容）

鳥獣被害防止施設（防護柵）の設置



豊かな自然を生かしたスポーツツーリズムの推進（須崎市浦ノ内湾大嶋海岸の整備）

「港湾・海岸課」12月補正予算額 8,000千円
 「観光政策課、スポーツ健康教育課」

目的

須崎市による「須崎海洋スポーツパーク構想」を県・市連携により推進し、須崎市浦ノ内湾を本県の海洋スポーツの拠点の一つとして整備し、本県のスポーツツーリズムの推進とスポーツの振興を図る。

現状と課題

現在の活動区域は坂内地区のみであるため、受入規模を拡大するためには、活動区域の拡大が必要

整備内容

新たに大島地区をスイミングエリアとして、坂内地区をカヌーエリアとして整備

海洋スポーツ大会の充実やスポーツ体験活動の拡充、2020年東京オリ・パラの事前合宿の受入が可能となる整備を行う。

※OWS：オープンウォータースイミング

1. 大島地区の整備（スイミングエリア）⇒OWS(※)大会・海上スポーツツアー関係・スポーツ合宿関係
2. 坂内地区の整備（カヌーエリア）⇒カヌー競技・スポーツ合宿関係
3. カヌー長距離コースの整備⇒トップチームの合宿に対応するコース整備（合宿受入れ時に設置）

須崎海洋スポーツパーク構想

須崎市立スポーツセンターを活用した海洋スポーツの振興やふれあいと交流の場の創出などにより、須崎市及び須崎市浦ノ内地域の活性化を図る。



整備計画

【役割分担】

- ①県で実施 ②～⑧ 須崎市で実施

NO.	整備施設	工事費 (百万円)	整備 年度
①	親水公園の整備	(108)	
②	栈橋整備（新設）	130	
③	海洋スポーツ関連備品（新規）	15	H29
④	トイレ、シャワー等整備（新設）	43	
⑨	OWSコースの整備（大会時）	③対応	
⑦	カヌー広場整備 （パリアフリー、舗装）	-	H28
⑤	艇庫・管理棟（簡易宿泊機能）の設計	7	H29
⑥	体験学習棟・観覧席の設計	10	
⑤	艇庫・管理棟（簡易宿泊機能）の整備（拡充）	123	H30
⑥	体験学習棟・観覧席の整備（拡充）	200	
⑧	カヌーコースの整備（パイ等購入）	20	H30
共通	⑤艇庫・管理棟		
共通	⑥体験学習棟		
	合計	548	-

大島地区整備内容

県管理区域である大嶋海岸において、平成29年10月開催予定のすさきOWS大会までに坂路・歩道の拡幅等を行う。



【県で実施（①）】
 置石の撤去
 砂浜の整地（編みかご敷設）
 歩道拡幅
 観客が座れるベンチ機能

【須崎市で実施】
 ②栈橋（新設イメージ）
 ③トイレ・シャワー等整備

工程表

	H28		H29	
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月
実施設計	→			OWS大会
工事	→			

整備後の取組

- ・オリ・パラ事前合宿の招致・スポーツ合宿の誘致
- ・スポーツ大会の開催・スポーツイベントの実施
- ・研修・体験メニューの創出・部活動の充実等

すさきOWS 2017大会

リオ五輪日本代表平井選手（8位入賞）をはじめとする海外オリンピック等を招聘したOWS大会の開催を予定

整備後の期待される効果

【スポーツツーリズムの推進】

スポーツ大会の規模の拡大、スポーツ合宿、体験活動の受入れ増加や個人利用の増加

【海洋スポーツの推進】

トップ選手の受入による練習環境の充実、競技人口の増加、競技力の向上

【障害者スポーツの推進】

バリアフリー化などの環境整備により障害者の海洋スポーツへの参加機会が増加

■経済波及効果試算

県外客増加数① (H27年度→H33年度)	左記に係る県内消費額② (①×1人当たりの県内消費額※ア)	経済波及効果（年あたり） (②×誘発倍率※イ)
6,000人	56,930千円	86,534千円

※ア 1人当たりの県内消費額：高知龍馬マラソンアンケート20,449円、県外観光客動態調査17,470円等
 ※イ 誘発倍率：1.52（県外観光客入込・動態調査による県外観光客の経済波及効果算出の際の誘発倍率）

➤整備後13年目に整備コスト等を上回る

- 整備後13年目の経済波及効果の増加分 **913,591千円**
- 整備等にかかる13年間のコスト **855,000千円**
- 5年目（H33）から最大の経済波及効果を発揮
- ・4年目までの累計 134,785千円
- ・5年目以降は、毎年86,534千円を積み上げ
- ・整備費 656,000千円（うち設計費8,000千円）
- ・管理費 13,000千円（毎年）
- ・更新費 15,000千円（5年に1回）

高知家健康パスポートについて

【目的】

壮年期の死亡率の改善を図るため、保険者が実施する予防・健康づくり事業のプラットフォームとして、「高知家健康パスポート」を発行し、県民の健康意識の更なる醸成と健康的な保健行動の定着化を図る。

【仕組み】

- ★健康づくりの取組により交付されるシールを集めてパスポートを取得。
- ★パスポートを参加施設で提示すると割引などの特典。
- ★更にシールを集めるとプレゼントキャンペーンへの参加も可能。



●健診を受ける

- ・特定健診 ・がん検診
- ・人間ドック など

●知る・参加する

- ・健康づくり支援薬局の利用
- ・健康イベントへの参加 など

●楽しく動く

- ・プール、ジム、体育館、ゴルフ、ボウリングの利用 など

【交付実績】

9/1～11/30までに6,512人に交付

- ・取得者の年齢構成は40～50歳代が4割
- ・取得者の5割は健診に絡んだ取得

今後の展開

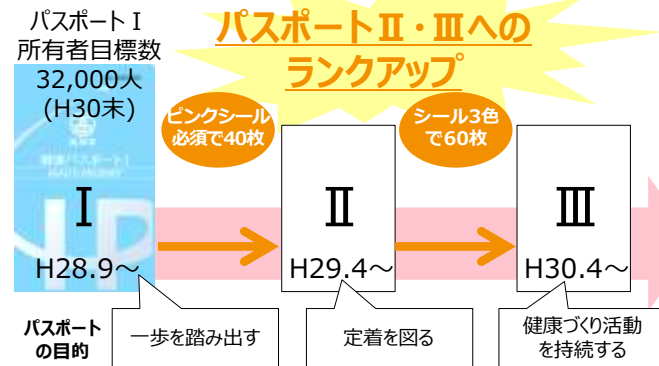
新たにランクアップの仕組みを導入し、それを呼び水としてパスポートへの関心を高めるとともに、健康行動の継続につなげる！

今後の展開

【考え方】 I → II・IIIへのランクアップに伴い、必要なシールの枚数を増やすとともに、特典を充実

	目的（効果）	要件	特典
I	健康づくりに一歩踏み出す	シール2色以上で3枚	・協力店でのサービス ・キャンペーン応募
II (H29.4～)	健診受診と健康づくりの定着を図る	ピンクシール必須・2色以上で40枚 ①健診受診（ピンクシール） 10枚 （ピンクシール1枚を5枚換算） 健診を最重視して必須化及び重み付け ※職場健診・人間ドックで2枚付与、がん検診等で1枚付与 ②運動の習慣づけ（ブルーシール）又はイベントへの参加等（グリーンシール） 30枚 週1回の（シールの対象となる）運動や健康イベントへの参加等が6ヵ月（26週）程度継続されることを目指す	・協力店でのサービス充実 ・キャンペーン充実
III (H30.4～)	積極的な健康づくり活動を継続する	シール3色必須で60枚 ①健診受診（ピンクシール） 10枚 （IIと同じ） ②運動の習慣づけ（ブルーシール）又はイベントへの参加等（グリーンシール） 50枚 週1回の（シールの対象となる）運動や健康イベントへの参加等が12ヵ月（52週）程度継続されることを目指す ※運動習慣＝1回30分以上の運動を週2回以上、1年以上継続（国民健康・栄養調査（厚労省）） ※IIIの要件については、健康づくりの成果を取り入れることを検討中	・協力店でのサービスのさらなる充実 ・キャンペーンのさらなる充実

【ランクアップのイメージ】



県民の健康意識の更なる醸成と行動の定着化

補正予算（案）

常時啓発・情報発信の強化（3,102千円【9,080千円】）

- のぼり、ポスター、PRパンフレット、キャンペーンハガキ等

取得促進イベント（702千円【1,728千円】）

- 県独自のイベントの実施、特典利用施設の拡充

ランクアップの仕組みを導入（1,905千円【7,547千円】）

- パスポートランクアップ時のキャンペーン

所有者情報の活用

- 市町村主体の健康づくり事業の展開、市町村への情報提供

※シールを集める手段、協力店での特典を充実するため、市町村や事業所に呼びかけ（例）ウォーキングやジョギングなど日々の健康活動をシールに結びつける仕組み

国の経済対策に応じた公共事業の追加 (1/3)

国の経済対策に応じて、公共・直轄事業については 南海トラフ地震対策など「命を守る」対策を中心に、131億円を計上

- ・ 四国 8 の字ネットワークなどの「命の道」の整備
- ・ 橋梁耐震対策や法面防災対策による緊急輸送道路機能の確保
- ・ 浦戸湾内の地震・津波対策
- ・ 土砂災害対策の促進

(単位：百万円)

1. 道路事業の概要 (6,655)

8 の字関連事業等 (252)

国直轄道路事業費負担金

【3工区 132百万円 (8の字関連等)】

- ・ 窪川佐賀道路
- ・ 高知西バイパス
- ・ 越知道路 ほか

県事業 (8の字関連、I Cアクセス道路)

【2路線 120百万円】

- ・ 国道493号(北川道路 2-2工区)
- ・ 大久保伊尾木線

国直轄道路事業をバックアップし、県事業と併せて8の字関連事業等を推進



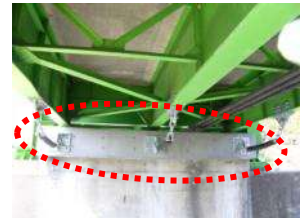
橋梁の耐震対策 (342)

緊急輸送道路や啓開道路等の橋梁を耐震補強し、落橋等の被害を防ぐ

- ・ 大田口停車場線 薬師橋 (大豊町) など44橋

橋梁の損傷を限定的なものにとどめ、

- ・ 緊急輸送道路の機能確保
- ・ 孤立集落の発生を防ぐ



対策実施例

法面の防災対策 (1,239)

緊急輸送道路や啓開道路等における落石対策等の道路法面対策を実施

- ・ 国道194号 いの工区 (いの町) など24工区

(参考) 道路法面防災対策工事

法面対策により、

- ・ 災害時の道路網の確保
- ・ 落石事故等の発生を防ぐ



橋梁・トンネル等の老朽化対策 (1,125)

橋梁・トンネル等の点検を行い、点検結果に基づき効率的・効果的な修繕を実施

- ・ 橋梁、トンネル点検
国道195号曙大橋 (高知市)、
本川大杉線早明浦トンネル (土佐町) など510箇所
- ・ 橋梁修繕
春野赤岡線物部川大橋 (香南市) など21橋

5年に1回、道路施設の定期点検を実施

- ・ 損傷程度に応じて修繕計画を策定
- ・ 計画的な修繕で道路機能を維持



1. 5車線の道路整備事業 (1,403)

中山間地域における安全・安心を確保するため、地域の実情に応じた道路を整備

- ・ 西土佐松野線 (四万十市) など22箇所

2. 河川・海岸・港湾・漁港・漁場事業の概要 (1,173)

海岸の地震・津波対策 (417)



【国事業】

○高知海岸の堤防耐震補強 190

【県事業】

○香南市岸本海岸の離岸堤の整備 210



【県事業】

○中土佐町笹場海岸・室戸市平尾海岸の堤体補強等 17



笹場海岸 (施工前)



平尾海岸 (施工前)

漁港・漁場事業 (729)

○室戸岬漁港 防波堤 (耐津波) 補強工事 68

○野根漁港 沖防波堤工事 (延伸) 等 260

○赤岡漁港 護岸機能保全工事 42

○沖の島沖 浮魚礁 (黒潮牧場11号) 再設置工事 359



室戸岬漁港



浮魚礁 (黒潮牧場)

3. 造林事業の概要 (855)

健全な森林の育成のための間伐や多様な森林整備を推進

○間伐、路網整備等 855

・室戸市外29市町村



間伐例 (施工前)



施工後

国の経済対策に応じた公共事業の追加 (3/3)

(単位：百万円)

4. 砂防事業の概要 (1,085)

- 砂防の整備 90
 - ・仁淀川町谷山川外2箇所
- 地すべり対策 260
 - ・大豊町川井外8箇所
- 急傾斜地崩壊対策 590
 - ・四万十市鶴ノ江外22箇所
 - 国直轄砂防事業費負担金 45
 - ・大川村吉野川上流外1箇所
 - ・大豊町怒田・八畝
- 砂防等の基礎調査 90
 - ・調査予定箇所数360箇所
 - 地すべり防止施設点検 10
 - 10箇所

【ハード対策】 住家、要配慮者利用施設、地域防災拠点、避難所など、防災上重要な施設を土砂災害から保全



砂防ダム



地すべり対策事業



急傾斜地崩壊対策

【ソフト対策】 土砂災害警戒区域の指定を推進、砂防設備等の長寿命化計画策定を推進



6. 耕地事業の概要 (2,712)

担い手への農地集積を進めるため、ほ場整備を実施

- 農地の区画整理 438
 - ・四万十市入田地区外 2 地区



農村地域の防災対策として、ため池の耐震化等の整備補強工事や、津波避難タワーなどの農村防災施設の整備を実施

- ため池等の整備 664
 - ・四万十町窪川地区外 8 地区



- 津波避難タワー等の整備 851
 - ・香南市香南南部地区外 5 地区



- 地すべりの防止 408
 - ・大豊町粟生地区外 3 地区



5. 都市計画事業の概要 (660)

- 都市公園事業 640
 - ・春野総合運動公園 屋内運動場人工芝整備工事
ソフトボール場防球ネット整備工事
 - ・土佐西南大規模公園 展望台整備工事
体育館屋根改修工事
- 都市計画街路事業 介良通り線の整備 20



土佐西南大規模公園 展望台
津波避難施設を兼ねた展望台を整備



春野総合運動公園 屋内運動場

1 経済の活性化

NEW

**牧野植物園の施設整備にかかる
測量調査等を実施** 2,160
【債務負担】 11,270
(測量調査等委託料)

牧野植物園磨き上げ整備基本構想の第1期構想の中で、新たに整備を予定している(仮称)「スタディ園」と(仮称)「ファミリー園」の、牧野植物園開園60周年(H30)に合わせたオープンに向け、整備候補地の測量調査等を行う。

委託内容：測量調査等
委託先：未定
委託方法：指名競争入札及び随意契約



(林業振興・環境部 環境共生課)



拡

高収益な作物・栽培体系への転換を支援 377,942
(産地パワーアップ事業費補助金)

地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲のある農業者が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組をすべての農作物を対象として総合的に支援する。

補助先：市町村
実施主体：農業者団体 等
補助率：1/2以内
補助対象：

- ① 整備事業：集出荷場やハウスなどの施設整備
- ② 生産支援事業：農業機械の導入や果樹の改植、資材の導入に必要な経費等

(農業振興部 産地・流通支援課)

拡

高性能林業機械の導入及び路網の整備等を促進
91,773

国の経済対策に対応し、木材加工施設等に出材を計画する間伐や路網整備、高性能林業機械の導入を支援する。

- (1)木材安定供給推進事業費補助金 86,608千円
補助先：市町村、森林組合、森林経営計画認定者 等
補助率：定額
補助対象：間伐、路網整備

- (2)原木増産推進事業費補助金 5,165千円
補助先：市町村等
補助率：1/2以内
補助対象：高性能林業機械
(ウィンチ付きグラブ) の導入



(林業振興・環境部 木材増産推進課)

NEW

中山間地域の所得向上のための施設整備等を支援 306,125

(中山間地域所得向上支援事業費補助金)

国の経済対策に対応し、「中山間地域所得向上計画」に基づく生産・販売等の施設整備等を支援する。

補助先：市町村、農業者団体 等

補助率：①計画策定分：定額

②施設整備等：1/2以内

③基盤整備分：6.5/10以内

④鳥獣被害総合防止対策分：定額

(産業振興推進部 鳥獣対策課)
(農業振興部 地域農業推進課、農業基盤課)

NEW

須崎市浦ノ内湾大嶋海岸の整備 8,000

(大嶋海岸環境整備実施設計委託料)

須崎市浦ノ内を本県の海洋スポーツの拠点のひとつとして、新たに同市大島地区においてオープンウォータースイミング大会などの海洋スポーツ大会の充実やスポーツ合宿の誘致拡大を図るため、同地区の整備に伴い必要となる坂路・歩道の拡幅や勾配の緩和などに係る実施設計を行う。

委託内容：海岸の環境整備にかかる測量・設計等

委託先：未定

委託方法：指名競争入札



(土木部 港湾・海岸課)

拡

クルーズ客船寄港時の受入態勢の充実 【債務負担】 205,082

クルーズ客船寄港時の高知新港岸壁や高知市中心部での乗客等の受入態勢を充実させ、寄港時の満足度を高めるとともに、客船の更なる誘致と寄港の定着化につなげる。

<岸壁対応>

(1)客船受入等業務委託料 154,001千円【債務負担】

委託内容：①客船寄港時の歓迎行事等の実施

②乗船客の利便性の向上及び交通渋滞の緩和のための
シャトルバスの運行 等

委託先：未定

委託方法：随意契約（プロポーザル方式）

<市街地対応>

(2)客船受入等業務委託料 51,081千円【債務負担】

委託内容：高知市中心部での渋滞対策、臨時観光案内所の設置、市街地における通訳スタッフの配置、日本文化等が体験できるミニイベントの実施 等

委託先：未定

委託方法：一般競争入札



(土木部 港湾振興課)
(観光振興部 おもてなし課)

2 日本一の健康長寿県づくり

拡

高知家健康パスポートの取組の促進 **5,709**
【債務負担】 18,355

(健康づくり推進キャンペーン実施委託料)

本年9月からスタートした高知家健康パスポートについて、啓発資材の作成や広報を強化するとともに、平成29年4月からランクアップの仕組みを導入するなど取組の更なる周知と促進を図る。

委託内容：高知家健康パスポートやチラシ、ポスター等の作成、広報等

委託先：未定

委託方法：随意契約（プロポーザル方式）



(健康政策部 健康長寿政策課)

拡

和食ダム建設事業

【債務負担】 975,439

ダム堤体左岸部の地盤について、再掘削が必要であることが判明したことに対応するため、コンクリート打設の一部にかかる費用を次年度に計上する。

和食ダム建設事業費 975,439千円【債務負担】



(土木部 河川課)

NEW

県立学校におけるネットワークセキュリティの強化

【債務負担】 423,439

(県立学校情報セキュリティ強化対策事業委託料)

児童生徒の個人情報等を扱う校務系(LGWAN系)ネットワークと教材研究等を行う学習系(インターネット系)ネットワークを分離するとともに、授業利用を見据えたインターネット接続用端末として、新たなPCを配付する。

委託内容：無線LAN環境及びPC等の整備
運用・保守（5年間）

委託先：未定

委託方法：随意契約（プロポーザル方式）

※ LGWAN……地方公共団体を相互に接続する行政専用のネットワーク

(教育委員会 教育政策課)

3 その他

NEW

公共工事の端境期対策 **【債務負担】 101,500**

「建設業活性化プラン」に基づく公共工事の端境期対策として、繰越制度の柔軟な活用と併せて、次年度の地方特定道路整備事業（県単独事業）の一部を前倒して発注する。

端境期対策

H28	467箇所、288.02億円
	うち県単独事業費 1.02億円【債務負担】
H27	183箇所、209.3億円
	うち県単独事業費 6.3億円【債務負担】

(土木部 道路課ほか)

